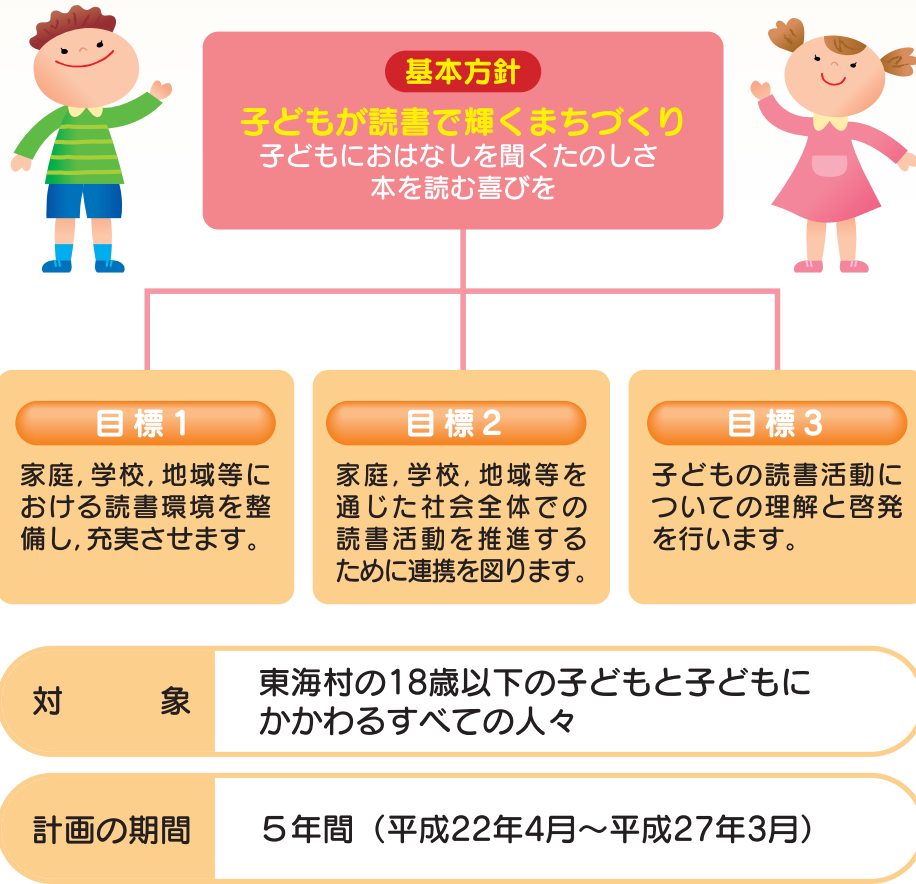


子どもの読書推進のために 役割と方策

本は子どもの心の成長に欠かせないものです。
子どもに本の楽しさを伝えるのは大人の重要な役割です。

すべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるような環境の整備を推進します。



学 校

保育所(園)・幼稚園

子どもが初めての集団生活を体験して、たくさんの絵本に親しみ、興味や関心を広げる場です。また、保護者に読み聞かせの大切さや楽しさを伝える役割を担っています。

- 読み聞かせを促進します。
- 絵本を充実します。

小・中学校

教育活動を通して多くの本と出会い、読書への興味・関心を高め、読書を習慣づけます。また、読書力や表現力を高めるといった大きな役割を担っています。

- 学校図書館のコンピュータ化、ネットワーク化による本の有効活用をはかります。
- 学校図書館の充実を図ります。
- 日課表への本に親しむ時間を位置づけます。



地 域

ボランティア・民間団体

家庭、学校、行政と連携して、子どもが読書に親しめる取組みを推進します。

- 子どもの読書に関する施設とボランティアとの連携を図ります。
- 外国語も含めたいろいろなおはなし会を企画し、開催回数を増やします。
- 読書フェスティバル(仮称)を開催します。

子どもと家庭

子どもの読書習慣には親の意識が大きな影響を与えます。家庭での読み聞かせは、子どもにとって自分への愛情を確認できる心の栄養の時間です。

- ブックスタート(5ヶ月児乳児検診での赤ちゃんへのよみかき)をきっかけとして家庭で読書の習慣をつくりましょう。
- 図書館を利用して、子どもがいつでも本と接することができる環境をつくりましょう。
- 大人自身が読書を楽しみましょう。

行 政

基礎的な体制づくりや、人材育成、環境整備等の初期支援を行います。図書館は、子どもの読書環境の基礎を支えます。

- いろいろな言語の絵本・子どもの本を収集します。
- 中・高校生コーナーを新設して充実を図ります。
- 読み聞かせ講習会や子どもの読書についての講座を開催し、人材育成をはかります。
- 図書館の団体貸出や見学受入などで利用の促進を図ります。
- 子どもの読書に関する啓発に努めます。
- 東海村子ども読書推進委員会(仮称)を立ち上げて活動を推進します。

子どもを取り巻く大人の方へ

- 毎日、少しの時間でも生活の中に読書の時間をつくりましょう。
- 子どもと同じ本を読んで、感想を話し合ってみましょう。
- 図書館や地域のおはなし会などに、積極的に参加しましょう。

大人が本を読むと子どもも本を読む!

